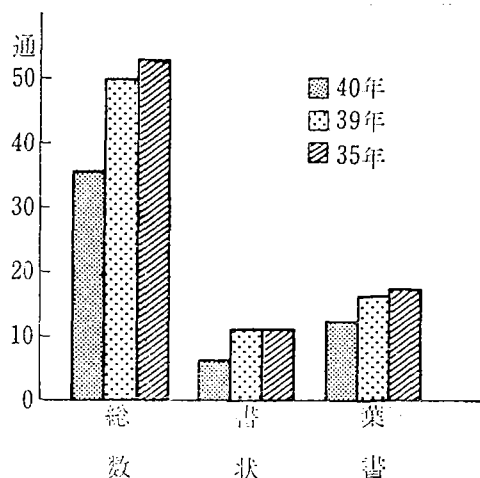


## 66. 郵便, 電報

電話と郵便物は、企業活動や、家庭生活において、意思を通じ合う手段として欠くことのできないものである。企業や家庭生活の活動範囲の拡大と対外関係の複雑さが増すにつれて、電話や郵便物の需要は高まってくる。40年度末の加入電話数は15万台にのぼり、人口1,000人当たりの加入電話普及台数は56.2台で39年の38.7台に比べ増加している。

40年度における年間引受郵便物数は143百万通に達し、39年度に比べ11.8%の増加を示した。引受郵便物の内訳をみると、書状は30百万通で21.3%、葉書は46百万通で32.4%、年賀ハガキは30百万通で21.1%を占め、35年～40年で73.7%の増加となっている。

県民1人当たり引受郵便物の推移



各年3月31日現在

年	郵便局				電報電話局		
	総数	普通局	特定局	簡易局	総数	直営局	委託局
昭和30年	336	13	299	24	327	17	310
35	340	16	305	19	348	18	330
38	355	19	320	16	172	23	149
39	366	21	327	18	166	27	139
40	383	22	340	21	169	25	144
41	393	22	348	23	161	26	135

年 度	引受通常郵便物数 (1 000通)						小包郵便		
	総数 1)	普通郵便物			特殊郵便物				
		計	(うち)書	(うち)葉書					
昭和30年	64 941	50 414	12 602	26 322	1 872	605			
35	82 477	62 260	14 916	28 056	2 619	804			
37	100 114	74 301	22 262	33 229	3 969	947			
38	114 983	85 068	26 438	36 780	4 510	984			
39	128 151	95 968	29 059	41 202	4 989	1 060			
40	143 299	107 395	30 536	46 410	5 402	1 202			
昭和	電報取扱通数 2)								
	国内電報				国際電報				
	計	(うち)発信		(うち)着信		計	(うち)発信		(うち)着信
		計	発信	着信	計		発信	着信	
30年	4 335 484	893 402	1 254 915	2 192	634	974			
35	4 693 639	892 814	1 395 118	1 933	501	937			
37	4 781 102	1 053 853	1 609 068	2 939	941	1 519			
38	4 948 093	1 169 494	1 749 777	5 050	1 695	2 674			
39	...	1 705 798	...	...	3 293	...			
40年度	5 131 717	1 755 231	1 495 203	133 454	21 575	23 556			

東京郵政局, 千葉電気通信部 注) 1)年賀郵便, 選挙郵便を含む。2)歴年。